

新庁舎建設 基本設計がまとまりました

「国分寺市新庁舎建設基本計画」で設定した、新庁舎の「基本理念」および「基本方針」の実現を目指し、検討を進めてきました。市民説明会などでいただいた市民の皆さんのご意見を参考にしながら、このたび「国分寺市新庁舎建設基本設計」をまとめましたので、その概要をお知らせします。

基本設計の考え方

新庁舎に備えるべき6つの機能の具現化

防災機能

- ・防災拠点としての安全性の確保
- ・災害発生時のBCP対策の徹底

執務機能

- ・時代・ニーズの変化に対応できる可変性能
- ・市民サービス・業務効率向上に繋げる行政執務環境整備

建物機能

- ・良好な景観形成、豊かな環境維持に寄与する庁舎
- ・シンプルで維持管理しやすい庁舎

市民サービス機能

- ・わかりやすく利用しやすい窓口機能
- ・市民が集いやすい開かれた庁舎
- ・市民に愛される、国分寺らしい庁舎

環境対応機能

- ・自然エネルギーを積極的に活用し環境負荷を低減
- ・CASBEE-Sランク、ZEB Readyの認証取得

議会機能

- ・バリアフリーに配慮した、市民が参加しやすい議会機能



外観イメージパース
(JR西国分寺駅側から)

※外観の色彩については、今後、実施設計で検討します。
※屋上の防災無線アンテナについては、所管課にて別途検討します。

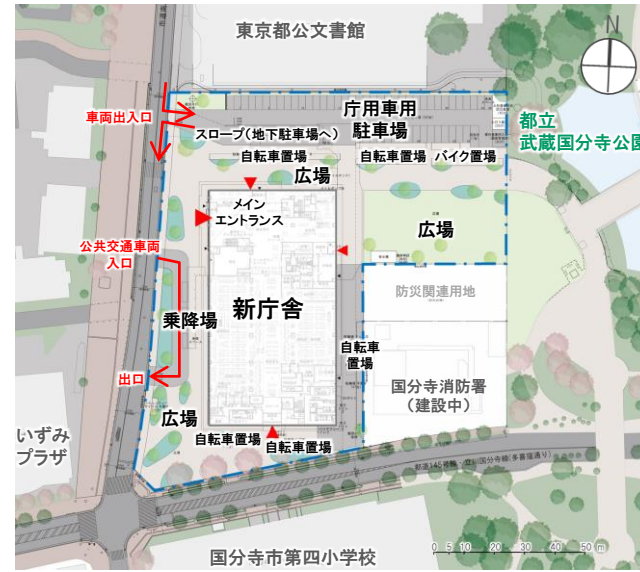
計画概要

計画地	国分寺市泉町2丁目102番9(地番)
敷地面積	12,623.72㎡
延床面積	21,815.82㎡
建築面積	4,397.53㎡
建物高さ	24.8m
階数	地下1階 地上5階
構造	鉄骨造・鉄筋コンクリート造／免震構造



配置計画

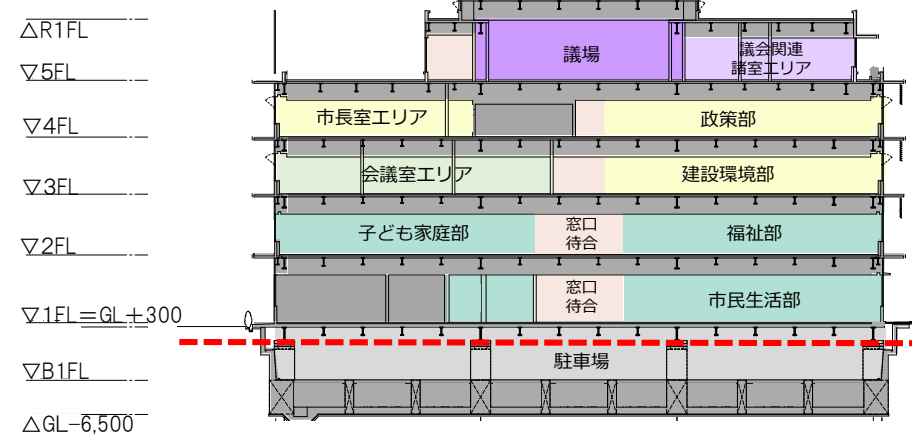
- 庁舎建物は敷地のほぼ中央に配置し、敷地周辺道路から離して広場や歩行空間を確保し、周辺環境にゆとりをもたせた配置とします。
- 車両の出入口は比較的交通量の少ない西側道路のみとし、一般車両(来庁者、庁用車両)出入口を北西の1か所に集約することで、歩行者の通行上注意が必要な箇所を最小限にできるとともに公共交通車両動線との交錯をなくし、敷地内外の安全性を向上させます。
- 敷地内の広場は、平常時は市民の憩いの場、市民活動の拠点、また有事の際は災害対策活動の拠点として、多目的に機能します。
- 来庁者用駐車場を地下に設け、雨天時も雨に濡れないアクセスを可能とします。



断面計画

- 地下駐車場柱上部に免震装置を配置し、大規模地震の際にも庁舎機能を維持できる計画とします。
- 1階エントランスロビーを吹抜けとすることで、市民利用が多い2階窓口への視認性を高めた計画とします。

最高高さ
GL+24,800

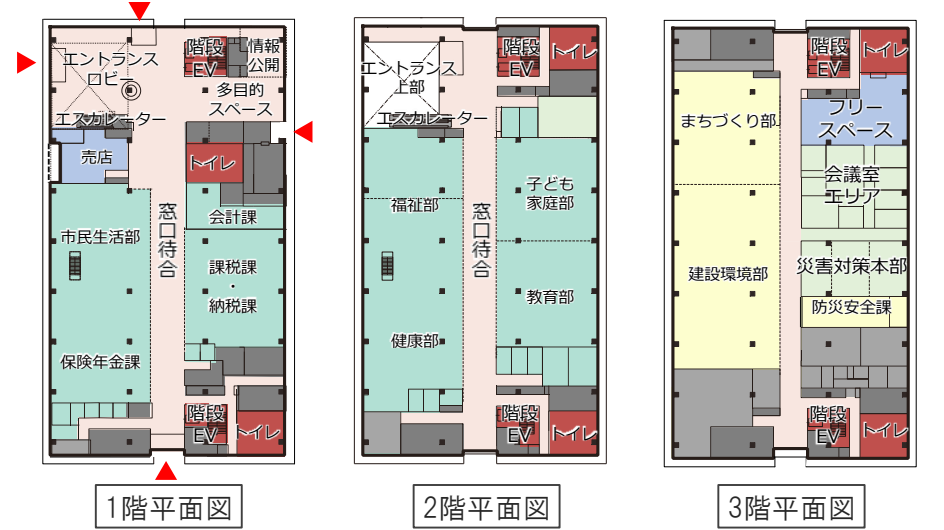


- 最上階には独立性に配慮し、議会施設を配置します。
- 中層階にはまちづくり部や建設環境部、防災安全課と政策・総務部門を配置し、災害発生時に迅速な対応がとれるようにします。
- 市民利用の多い窓口機能は、1・2階に配置し、市民の利便性向上を図ります。

△免震装置
設置位置

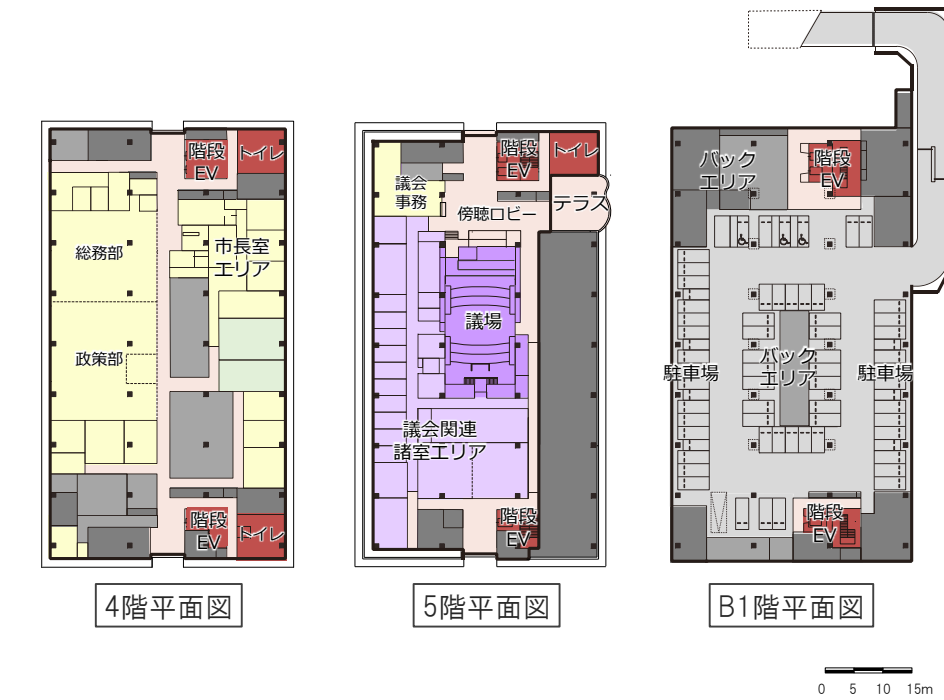
平面計画

- 庁舎建物は、機能的かつ合理的な長方形の平面形状とします。
- 執務空間・待合スペースは、柱の少ない、使い勝手のよい空間とします。
- 各フロア南北対称の位置にエレベーター・階段・トイレを配置し、動線がわかりやすく明快な配置とします。また、エレベーターホール・トイレは自然光が入る明るい空間とします。
- 市民の利用頻度が高い2階窓口へのアクセスを容易にするため、1・2階間にエスカレーターを設置します。



凡例

待合・共用部・廊下
執務スペース(窓口機能)
執務スペース(行政機能)
会議室
議場
議会関連諸室
エレベーター(EV)・階段・トイレ
フリースペース・売店
倉庫・書庫・その他執務室
設備スペース
駐車スペース
▲ 出入口



立面計画

緑豊かで閑静な周辺環境に調和する、親しみやすい景観とします

デザインコンセプト

- 歴史と今と未来をつなぐ 歴史を尊重しながら次世代へつなぐ 永く市民に愛される国分寺らしいデザイン
- 地域に調和する庁舎 周辺環境に配慮し街並みに調和する外観
- 地域資源の活用 地域産木材・現地の木・土を用いた建材の活用



防災計画

庁舎建物としての安全性・耐震性を確保する免震構造を採用します

地震対策

- より高い免震性能を発揮するシステムを採用し庁舎の機能維持を図ります。
- 設備機器及び配管についても耐震安全性を確保し、地震災害時にも機能を維持します。

国分寺市の災害対策活動の司令塔として業務継続機能に配慮した計画とします

災害時のBCP対応方針

- 電力インフラが万が一途絶した場合でも、バックアップ対策を図り、7日間業務を継続できる計画とします。
- 電力の多重化を図るため、高圧2回線受電方式とします。
- ガスの引込は、災害時にも遮断しにくい中圧ガスを採用します。中圧ガスはガス混焼型の非常用発電機に供給し、燃料と混焼して電源供給の長時間化(168時間以上)を図ります。
- 太陽光パネルにより災害時のエネルギーバックアップの強化を図ります。
- 主要な設備機器は地上階に配置し、万が一の浸水リスクに備えます。

エントランス・多目的スペース

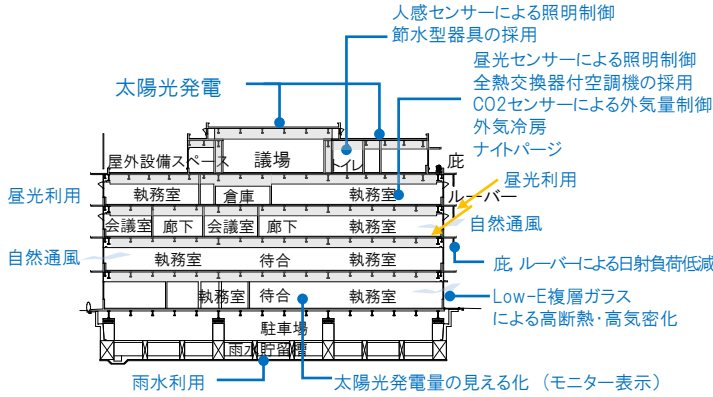
- 自然光が入る明るく開放的なエントランスとします。エントランスロビーに隣接して期日前投票やイベント開催が可能な多目的スペースを配置します。
- 多目的スペースに隣接して情報公開コーナーを配置し、予約図書の受け渡しも行います。



環境計画

環境配慮計画の考え方

- 太陽光パネルを最大限屋上に設置し、太陽エネルギーを活用します。
- 外装の日射遮蔽ルーバー、自然換気により省エネルギー化に努め、エネルギー消費量や太陽光発電量のデジタルサイネージによる見える化を行い、環境配慮を身近に感じることができる計画とします。

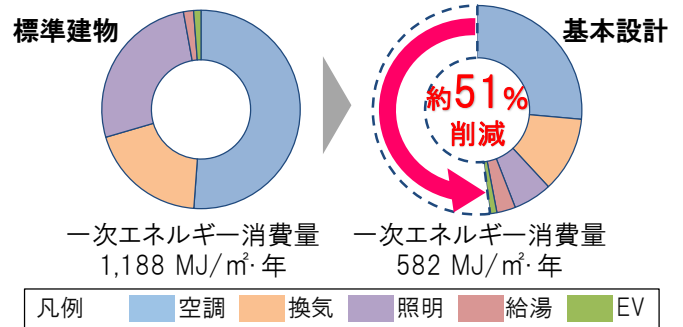


CASBEE(※1) Sランクの認証取得

- CASBEE-NC(新築) Sランク, CASBEE-WO(ウェルネスオフィス) Sランクに到達する計画としています。

ZEB Ready(※2) の認証取得

- 一次エネルギー消費量を基準値より51%削減し、ZEB Ready認証を取得します。



※1 CASBEE(建築環境総合性能評価システム): 建築物の内外の環境性能を評価し、格付けする手法。省エネルギーや環境配慮はもとより、室内の快適性なども含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。

※2 ZEB Ready: 標準建物の一次エネルギー消費量と比較して、50%以上の一次エネルギー消費量削減に適合した建築物。

ユニバーサルデザイン計画

誰もが利用しやすく安心して快適な庁舎とするため、ユニバーサルデザインに配慮した整備をします

ユニバーサルデザインの考え方

- 様々な利用者の特性に配慮し、可能な限り全ての人に利用しやすい環境整備を行います。

サインデザインの考え方

- 来庁者に情報をシンプルに直感的に伝える計画を目指します。
- 庁舎全体のサインについて共通のデザインルールを設定し、目的の場所へスムーズにご案内します。

今後の予定

令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
実施設計			
	新庁舎建設工事(22か月)	付帯工事	
		移転作業	
			新庁舎供用開始(予定)

市民説明会のお知らせ

● 日時・場所・募集人数

日時	会場	定員
2月24日(木) 午前10時～11時30分	ひかりプラザ 501会議室	20人
2月24日(木) 午後6時30分～8時	リオンホール Bホール (cocobunjiプラザ5階)	50人
2月26日(土) ★ 午前10時～11時30分	市役所 プレハブ会議室第一	25人
2月28日(月) ★ 午後3時～4時30分	いずみホール 練習室	25人

★ 2月26日(土)と2月28日(月)は、オンライン配信も行います。
※ 2月28日(月)いずみホールは、スリッパをご持参ください。

● 申し込みについて

【申込期間】2月16日(水)～

各開催日前の平日午後5時まで

【申込方法】メール または 電話にて下記まで

(オンライン参加希望の場合は要メール申込)

【必須事項】参加希望日時・氏名・電話番号・オンライン参加の有無

担当：国分寺市 政策部 公共施設整備推進室
Eメール：kokyoshisetsu@city.kokubunji.tokyo.jp
電話：042-325-0111(内線：442)